

出資法人等経営評価書(公益法人会計用)

平成15年7月1日現在

団体名	財団法人いばらき文化振興財団	代表者	理事長 橋本 昌	
所在地	茨城県水戸市千波町後川745番地	所管部(局)課	生活環境部 生活文化課	
ホームページURL	http://www.icf4717.or.jp	E-mailアドレス	info@icf4717.or.jp	
基本財産	30,000千円	設立年月日	1992年7月17日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資率
	1	茨城県	30,000千円	100.0%
	2		千円	
	3		千円	
	4		千円	
	5		千円	
	その他	団体	千円	
設立目的	各種の文化振興事業を行うことにより、個性豊かな県民文化の振興を図り、もって、国際性豊かな文化の県づくりに寄与する。			
事業内容	1 芸術・文化に接する機会の提供 2 芸術・文化に関する創作活動、発表活動、その他地域文化の向上を目的とする活動への助成 3 県民文化センターの管理運営受託 4 アクアワールド茨城県大洗水族館の運営 5 その他目的を達成するために必要な事業			

[組織]

7月1日現在の人数		斜字は、県関係者で内数(OBを含む)					
役員		平成13年度	平成14年度	平成15年度	13年度	14年度	15年度
	常勤理事	1	1	1	1	1	1
	非常勤理事	14	14	13	4	4	4
	常勤監事						
	非常勤監事	2	2	2	2	2	2
	計	17	17	16	7	7	7
職員	管理職	16	17	15	5	6	4
	一般職	73	73	71	2	2	2
	臨時職員	29	74	69			
	嘱託職員	7	4	4			
	計	125	168	159	7	8	6
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数
	13	21	28	24	86	42歳6月	18年4月

[収支等の状況]

区 分		平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	
収支の状況	事業収入		1,301,216	1,316,600	968,263	3,692,590	
	事業外収入	24,917	1,193,870	281,769	937,738	273,389	
	収入合計	24,917	2,495,086	1,598,369	1,906,001	3,965,979	
	事業支出	19,236	531,339	639,067	610,561	1,013,425	
	事業外支出	8,493	1,578,509	1,091,211	1,389,388	2,858,797	
	支出合計	27,729	2,109,848	1,730,278	1,999,949	3,872,222	
		うち管理費	2,671	1,080,334	1,085,484	1,297,661	1,926,576
		うち人件費		757,389	737,914	725,360	773,998
		当期収支差額	2,812	385,238	131,909	93,948	93,757
		正味財産増加額(当期収支差額を除く。)	5,822	792,424	302,022	256,742	1,614,696
		正味財産減少額(")		744,009	303,676	720,700	722,764
		当期正味財産増減額	3,010	43,415	28,246	236,042	891,932
財産の状況	前期繰越正味財産	754,485	757,495	1,191,148	1,057,585	499,679	
	期末正味財産	757,495	1,191,148	1,057,585	499,679	1,485,369	
	資産	764,000	2,068,358	1,909,742	1,389,439	2,385,437	
	流動資産	28,178	767,564	599,000	597,479	681,392	
	固定資産	735,822	1,300,794	1,310,742	791,960	1,704,045	
	負債	6,505	877,210	852,158	889,760	900,068	
	流動負債	6,505	352,345	314,760	388,999	371,474	
		うち短期借入金					
	固定負債		524,865	537,398	500,761	528,594	
	うち長期借入金						
	正味財産	757,495	1,191,148	1,057,584	499,679	1,485,369	
財的関与状況	補助金		148,069	176,454	273,404	137,948	
	委託金		430,452	402,494	431,343	440,649	
	貸付金						
	計		578,521	578,948	704,747	578,597	
	財政的関与の割合(%)			36%	37%	15%	
	損失補償・債務保証						

公益法人会計用

[評価指標]

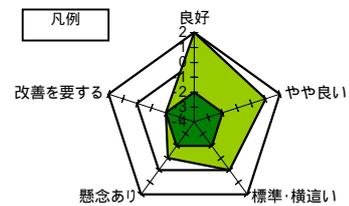
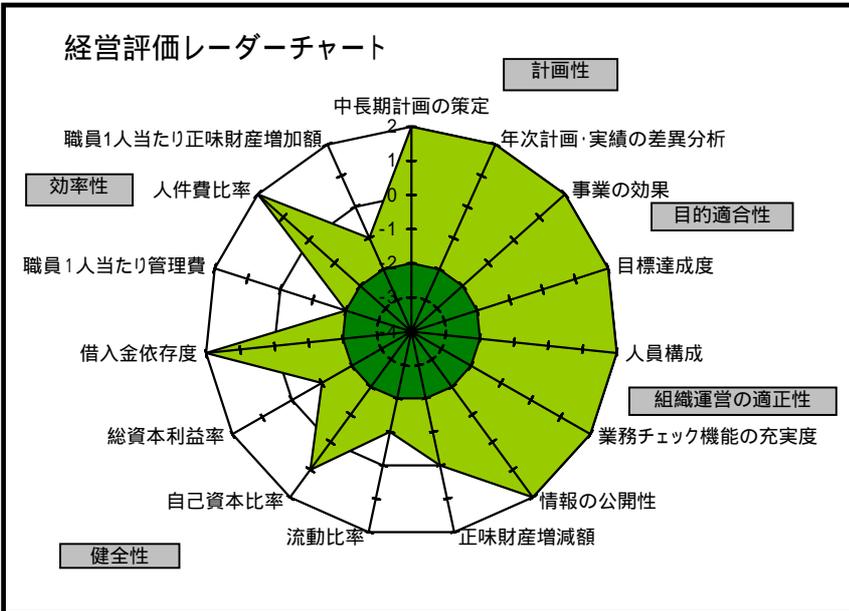
財団法人いばらき文化振興財団				12年度	13年度	14年度	評点	
計画性	1	経営基本方針の策定		経営基本方針の策定			2	
	2	中長期経営計画の策定		(経営改善計画:平成14~18年度)			2	
	3	年次事業計画の策定		具体的な目標設定			2	
	4	年次計画・実績の差異分析		計画未達成の原因分析と対策			2	
目的適合性	1	事業の意義		事業の必要性の検証			2	
	2	事業の効果		(評価の指標:)			2	
	3	顧客満足度の把握		(調査方法:)			2	
		目標達成度	%	実績値 ÷ 目標値 × 100	105	110	130	2
	5	収益事業比率	%	収益事業の事業費 ÷ 全事業費 × 100	27	17	35	2
組織運営の適正性	1	人員構成		役員・職員の構成,年代構成の適正化			2	
	2	職員の動機付け体制		組織の各職員の目標・成果に対する評価			2	
	3	業務チェック機能の充実度		業務遂行における組織のチェック機能			2	
	4	情報の公開性		事業活動内容・財務の公開状況			2	
健全性	1	収支比率	%	事業支出 ÷ 事業収入 × 100	49	63	27	2
		正味財産増減額	千円		133,563	557,906	985,689	0
		流動比率	%	流動資産 ÷ 流動負債 × 100	190	154	183	-1
		自己資本比率	%	正味財産 ÷ 総資本 × 100	55	36	62	1
	5	総資本利益率	%	正味財産増加額 ÷ 総資本 × 100	7	40	41	-1
		借入金依存度	%	借入金 ÷ 総資本 × 100	0	0	0	2
		借入金返済能力	年	借入金残高 ÷ (当期正味財産増加額 + 償却費 + 引当金・積立金)	0	0	0	2
	8	補助金収入依存度	%	補助金収入 ÷ 収入合計 × 100	11	14	3	1
	9	受託事業の再委託度	%	受託事業の外部委託費 ÷ 受託事業費 × 100	15	17	15	0
		土地の含み損益						2
	11	資金の運用						2
効率性	1	職員1人当たり管理費	千円	管理費 ÷ 職員数	7,923	10,381	11,467	-2
	2	人件費比率	%	人件費 ÷ 収入合計 × 100	51	40	24	2
	3	職員1人当たり事業収入	千円	事業収入 ÷ 職員数	9,610	7,746	21,979	1
	4	職員1人当たり正味財産増加額	千円	正味財産増加額 ÷ 職員数	974	4,463	5,867	-1
	5	役員人件費比率	%	役員人件費 ÷ 人件費 × 100	1	1	2	-1
	6	(施設管理運営型)施設等利用率	%	施設等利用延人数 ÷ 施設等定員数 × 100	77	79	83	1
	7 1	(施設管理運営型)・職員1人当たり施設等利用人数	人	施設等利用延人数 ÷ 職員数	7,659	6,618	14,886	1
	7 2	(建設製造販売型)職員1人当たり建設・製造・販売実績	件	建設・製造・販売実績 ÷ 職員数				
	7 3	(役務提供型)・職員1人当たり役務提供実績	件	役務提供実績 ÷ 職員数				
7 4	(金融サービス型)・職員1人当たり貸付等取扱件数	件	貸付等取扱件数 ÷ 職員数					
8	使用料の減免等		(使用料の減免額: 千円)				-2	
9	管理費削減工夫度		削減目標の設定及び成果				2	

評点集計

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	5	14	14	100.0%
組織運営の適正性	4	8	8	100.0%
健全性	11	16	40	40.0%
効率性	9	2	32	6.3%
合計	33	48	102	47.1%

財団法人いばらき文化振興財団

警戒指標



[経営概況, 経営上の課題・対策等]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
<p>中期経営計画(平成14年度から平成18年度)を策定し、事業別に目標を掲げ運営にあたっており、初年度である平成14年度は、水族館のオープン効果もあり計画以上に推移している。</p>	<p>個性豊かな県民文化の振興を図り国際性豊かな文化の県づくりに寄与するため、文化振興事業・文化センター・水族館等を運営しているが、施設及び事業の入場者による事業効果・目的達成度の状況から目的に適合している。</p>	<p>7月1日現在の財団職員は86名であり、役員・管理職等の人員構成は基準値の範囲である。職員の動機付け体制面では、職員による誘客アイデア募集を行うなど、事業運営の参画意識を取り込む体制をとっている。</p>	<p>流動比率及び総資本比率が「懸念あり」の指標となっているが、流動比率については、積立金計上により流動資産から固定資産へ資金を移動計上したためであり、総資本比率については、昨年度水族館の休館により利益率が低下したためである。</p>	<p>職員1人当たりの管理費が「改善を要する」指標となっているが、これは、水族館の施設規模が約2.5倍になり、施設管理に要する経費が増加したためである。今後は、サービスを向上させながら管理費を抑制することが課題である。</p>
<p>今後の事業展開の方向</p>	<p>財団が行う文化振興事業を安定的、継続的に実施するため、事業運営の基礎となる資金の確保に努める必要がある。自主公演事業及び県民文化センター付帯事業については収支均衡を保つ運営を行うこととし、特にアクアワールド・大洗については、損益分岐点を的確に捉え、収入状況を勘案した経費執行など、効率的な予算執行を行う。また、常にお客様の視点に立った運営に努めるとともに、常磐線沿線東葛地区キャンペーンなどによる潜在客の発掘や常に新しく魅力ある展示・ショーの展開と情報を発信しながらリピーターの増加を図り、安定的な入場者の確保を図っていく。</p>			

記載者職氏名 専務理事 三輪 俊明

代表者への説明(年月日及び説明時の指示等)

橋本昌理事長に対して8月11日に文書により報告を行ったが、特に指示等はなかった。

[所管課意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
適切である	適切である	適切である	流動比率及び総資本利益率の評点が「懸念あり」となっているが、双方とも旧水族館が稼動していた前期・前々期の業績が悪い時期との比較によるものであり、当期の業績は問題が無い状況である。	職員1人あたり管理費は、新水族館が開館したことに伴って光熱水費や保守業務委託費等が急激に増大したためであるが、評定は前々期との比較であり今後改善される見通しである。また、正味財産増加額についても、前期・前々期との比較であり、当期の業績には問題が無い状況である。
総合的所見等	<p>評価の視点の項目には標準を下回る評点となっているものも見られるが、財団の収支に大きな比重を占める水族館が、前々期は旧水族館の営業、前期は殆ど営業休止、当期は新水族館の開館、と営業形態が大きく変動した時期であったために、財団全体の財務状況の評点が低くなったものと思われる。 14年度は改善されているが、今後もさらに経営の健全化をめざし効率的な運営を行っていく必要がある。</p>			

[経営評価チームの意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
中長期経営計画の進捗状況を管理する推進委員会の提言を参考に、計画の見直しを行い、全事業において目標達成できるよう運営された。	施設利用者等のアンケート調査を参考に、県民のニーズを反映した魅力的な事業を実施された。	理事長については、自律的で責任ある経営体制の確立を図る観点から、知事の代表兼職を廃止されたい。	大洗水族館の事業収入の大幅増により、全体として当年度は黒字になっている。県民文化センター付帯事業については、アンケート調査等を参考に集客を図るよう努められたい。なお、積立金について、その目的及び目標額の積算基準を十分に検討し、内容を明確にすべきである。	引き続き、人件費等管理費の削減に努め、より効率的な運営をされたい。
総合的所見等	<p style="text-align: center;"> 概ね良好 改善の余地がある 緊急の改善が必要 </p> <p>大洗水族館及び県民文化センターについては、引き続きPRの強化やリピーターの確保などによる利用促進を図り、健全な経営を継続されたい。 また、県民文化センター付帯事業については、ニーズをとらえた集客の拡大を図り、収支改善に努められたい。</p>			